品質表示基準の見直しについて

「ドレッシング及び ドレッシングタイプ調味料」 ドレッシング及びドレッシングタイプ調味料品質表示基準の見直しについて(案)

平成20年3月5日農林水産省

1 趣旨

「JAS規格及び品質表示基準の制定・見直しの基準」(平成17年8月農林物資規格調査会決定)に基づき、ドレッシング及びドレッシングタイプ調味料品質表示基準(平成12年12月19日農林水産省告示第1667号)について、所要の見直しを行う。

2 内容

ドレッシングの日本農林規格の見直しとの整合性を図る等の観点から、定義を整理する改正を行う。

	改	正	案			現		行
(趣旨) 第1条 (略) (定義)	ドドレッシングタイプ記 がドレッシングタイプ記 いて、次の表の左欄に排		それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとっ	(趣旨) 第1条 ドレ に関する表 定めるもの (定義)	ィッシング) 示につい のほか、、	ては、加工食品品質表示基 この基準の定めるところに	調味料(容器に入 基準(平成12年 こよる。	れ、又は包装されたものに限る。)の品[3月31日農林水産省告示第513号)(、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりと
用語		定	義	用	語		定	義
ドレッシング	類の果汁(以下この 辛料等を加えて <u>調</u> り	香味食用油を除く。以 ⁻ D条において「必須原材 型し、水中油滴型に乳化	下同じ。)及び食酢若しくはかんきつ 材料」という。)に食塩、砂糖類、香 ヒした半固体状若しくは乳化液状の調 としてサラダに使用するもの	ドレッシ	ンンゲ	類の果汁(以下この象 辛料等を加えて <u>調整</u> し	ただいて「必須 」、水中油滴型に 間味料であって、	以下同じ。)及び食酢若しくはかんきつ 原材料」という。)に食塩、砂糖類、香 乳化した半固体状若しくは乳化液状の調 主としてサラダに使用するもの
ドレッシングタイプ 調味料	(略)			ドレッシン調味料	<i>/</i> グタイプ		頁の果汁に食塩、 斗であって、主と こいないものに限	
半固体状ドレッシン グ	(昭)			半固体状ドグ	ンシン	ドレッシングのうち、米	占度が30Pa・	s 以上のものをいう。
乳化液状ドレッシング	(略)			乳化液状ドグ	シャシン	ドレッシングのうち、浮 をいう。	L化液状のもので	あって、粘度が30Pa・s未満のもの
分離液状ドレッシン グ	(略)			分離液状ドグ	シャシン	ドレッシングのうち、ケ	分離液状のものを	いう。
マヨネーズ	、卵白、たん白加水分酸等) <u>、酸味料及び</u>	分解物、食塩、砂糖類、	別を使用し、かつ、必須原材料、卵黄 はちみつ、香辛料、調味料(アミノ 材料を使用していないもの <u>で、原材料</u> %以上のものをいう。	マヨネ	ニーズ		军物、食塩、砂糖	全卵を使用し、かつ、必須原材料、卵黄 類、香辛料、調味料(アミノ酸等) <u>及び</u> のをいう。

ドレッシング

サラダクリーミー | 半固体状ドレッシングのうち、卵黄及びでん粉又は糊料を使用し、かつ、必須原 | 材料、卵黄、卵白、でん粉、たん白加水分解物、食塩、砂糖類、はちみつ、香辛 料、乳化剤、糊料、調味料(アミノ酸等)、酸味料、着色料及び香辛料抽出物以 外の原材料を使用していないもので、原材料に占める食用植物油脂の重量の割合 が10%以上50%未満のものをいう。

(表示の方法)

第3条 (略)

ドレッシング

サラダクリーミー | 半固体状ドレッシングのうち、卵黄及びでん粉又は糊料を使用し、かつ、必須原 | 材料、卵黄、卵白、でん粉、たん白加水分解物、食塩、砂糖類、香辛料、乳化剤 、糊料、調味料(アミノ酸等)、酸味料及び着色料以外の原材料を使用していな いものをいう。

(表示の方法)

第3条 名称、原材料名及び内容量の表示に際しては、製造業者等(加工食品品質表示基準第3条第1項に 規定する製造業者等をいう。以下同じ。) は、次の各号に規定するところによらなければならない。

(1) 名称

加工食品品質表示基準第4条第1項第1号本文の規定にかかわらず、マヨネーズにあっては「マヨネ ーズ」と、サラダクリーミードレッシングにあっては「サラダクリーミードレッシング」と、マヨネー ズ及びサラダクリーミードレッシング以外の半周体状ドレッシングにあっては「半周体状ドレッシング 」と、乳化液状ドレッシングにあっては「乳化液状ドレッシング」と、分離液状ドレッシングにあって は「分離液状ドレッシング」と、ドレッシングタイプ調味料にあっては「ドレッシングタイプ調味料」 と記載すること。

(2) 原材料名

加工食品品質表示基準第4条第1項第2号(エを除く。)の規定にかかわらず、使用した原材料を、 原材料に占める重量の割合の多いものから順に、次のアからキまでに規定するところにより記載するこ

- ア 食用植物油脂は、「食用植物油脂」と記載すること。
- イ アの規定にかかわらず、食用植物油脂にあっては、「食用植物油脂」の文字の次に括弧を付して、 「大豆油、なたね油」等とその最も一般的な名称をもって、原材料に占める重量の割合の多いものか ら順に記載することができる。この場合において、記載する食用植物油脂が1種であるときは、「食 用植物油脂」の文字及び当該文字の次に付する括弧を省略することができる。
- ウ 食酢は「醸造酢」等と、かんきつ類の果汁は「レモン果汁」等とその最も一般的な名称で記載する こと。
- エ ウの規定にかかわらず、醸造酢にあっては、「醸造酢」の文字の次に括弧を付して、「米酢、りん ご酢」等とその最も一般的な名称をもって、原材料に占める重量の割合の多いものから順に記載する ことができる。この場合において、記載する醸造酢が1種であるときは、「醸造酢」の文字及び当該 文字の次に付する括弧を省略することができる。
- オ 砂糖類は、「砂糖類」又は「糖類」の文字の次に括弧を付して、「砂糖、ぶどう糖」等とその最も 一般的な名称をもって、原材料に占める重量の割合の多いものから順に記載し、砂糖及び砂糖混合ぶ どう糖果糖液糖を併用する場合並びに砂糖混合ぶどう糖果糖液糖にあっては「砂糖・ぶどう糖果糖液 糖」と、砂糖及び砂糖混合果糖ぶどう糖液糖を併用する場合並びに砂糖混合果糖ぶどう糖液糖にあっ ては「砂糖・果糖ぶどう糖液糖」と、砂糖及び砂糖混合高果糖液糖を併用する場合並びに砂糖混合高 果糖液糖にあっては「砂糖・高果糖液糖」と記載すること。ただし、記載する砂糖類が1種である場 合は、「砂糖類」又は「糖類」の文字及び当該文字の次に付する括弧を省略することができる。
- カー食用植物油脂、醸造酢、かんきつ類の果汁、砂糖類及び食品添加物以外の原材料は、「卵黄」、「 たん白加水分解物」、「食塩」、「でん粉」、「からし」、「こしょう」、「トマトペースト」等と その最も一般的な名称をもって記載すること。ただし、からし、こしょうその他の香辛料にあっては 、「香辛料」と記載することができる。

(表示禁止事項) 第4条 (略)

- キ 食品添加物は、食品衛生法施行規則(昭和23年7月13日厚生省令第23号)第21条第1項第 1号ホ及び第2号、第11項並びに第12項の規定に従い記載すること。
- (3) 内容量

加工食品品質表示基準第4条第1項第3号の規定にかかわらず、半固体状ドレッシングにあっては内容重量をグラム又はキログラムの単位で、乳化液状ドレッシング及び分離液状ドレッシングにあっては内容体積をミリリットル又はリットルの単位で、単位を明記して記載すること。

(表示禁止事項)

第4条 加工食品品質表示基準第6条各号に掲げるもののほか、ドレッシングタイプ調味料にあっては、「ドレッシング」、「マヨネーズ」等ドレッシングと誤認させる用語(製品100g中の脂質量が3g未満のものについて「ノンオイルドレッシング」と表示する場合を除く。)は、これを表示してはならない。